

入善町 議会だより

9月定例議会

№. 28号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会
富山県下新川郡入善町入膳3,255
☎ 0765 (72) 1100



秋深まる

ページ案内

9月定例会で決定したこと.....	2ページ
決算特別委員会を設置.....	3ページ
一般質問.....	4ページから7ページ
臨時議会.....	7ページ
寄付受入れ.....	8ページ

9月定例議会

一般会計 8,800万円を追加

9月定例議会は、22日から26日まで5日間の会期で開かれ、一般会計補正予算などを可決した。

10月から母子医療費は 全額公費負担に

補正は学校用地 取得費など

○昭和55年度一般会計補正予算 (第3号)

主な内容は、統合小学校用地取得事業、道路改良舗装事業の増加のほか、現段階までに確定した補助事業に伴う補正である。

○入善町簡易水道特別会計補正予算(第1号)

スパー農道工事のため、舟見簡易水道の配管を移設するための予算である。

○入善町母子及び父子医療費の助成に関する条例の一部改正

10月1日より、母子家庭の母及び子の医療費について、2分の1が県費助成されることになり、これにより、母子医療費は全額助成することになる。

○入善町営住宅管理条例の一部改正

公営住宅法施行令の一部が改正され、老人や身体障害者、生活保護者等の単身者の入居が可能となり、それに伴う入善町営住宅管理条例の一部を改正するものである。

○字の区域の廃止について
上野東換地工区における土地改良事業実施に伴い関係範囲内の小字及びこれに属する地番を廃止するものである。

○財産の取得及び処分について

入善町機械工業センター協同組合のグラウンド用地は、昭和39年に取交わした「工場敷地提供に関する契約書」第4条により返還を受けた。

この土地を町の基本方針である農工一体化と雇用拡大のために入善精密鍛造株式会社へ無償譲渡することになった。

○同意案第2号、教育委員会委員の任命同意

入善町教育委員会委員、泉俊一山本甚造の任期が昭和55年9月30日満了となるため同氏を再任した。

○選挙第1号、新川広域圏事務組合議会議員(補欠)選挙

上野幸一議員の辞職に伴い、補欠選挙の結果米島一信議員が当選した。

緊急動議により採択

請願第11号「異常気象に伴う大雨災害に関する助成について」は

若島議員から緊急を要するとの動議があり、委員会への付託を省略し、全員の賛成により採択した。

請願の内容は、7月26日から27日にかけての豪雨により、名産の黒部西瓜が大きな被害を被り生産者は精神的にも打撃を受けているので、町に助成してほしいというものである。



星ノ木自然公園

請願・陳情

委員会に付託し審査する

- 農道舗装について請願(種子沢木ノ根)
- 農道の整備について請願(栲山小杉)
- 西入善、道市線改良舗装方請願
- 栲山用水路国道8号線横断暗渠改修に関する請願
- 農道改良舗装促進に関する請願(栲山新、田ノ又)
- 道路の拡幅改良と舗装に関する請願(青木中南)
- 星ノ木自然公園に球技場を設置する件に関する請願
- 町道路肩擁壁コンクリート舗装の実施に関する陳情(青木上村)
- 道路及び水路の保全についての陳情(入膳10区)
- 入膳13区町道の保安対策についての陳情

昭和54年度決算

単位：円

収 入	収 入 済 額	支 出 済 額	差 引	
一 般 会 計	5,171,019,492	5,085,212,385	85,807,107	
特 別 会 計	国民健康保険	839,696,641	838,910,253	786,388
	簡易水道	23,359,831	19,429,237	3,930,594
	育英奨学資金	5,257,874	5,253,405	4,469
	土地取得	8,731,171	8,008,908	722,263
	分譲宅地	170,717,243	89,490,147	81,227,096
合 計	6,218,782,252	6,046,304,335	172,477,917	



決算特別委員会を設置

昭和54年度入善町歳入歳出決算認定についてが上程され、決算特別委員会に11月末日までに審査を終了するよう期限をつけて付託した。決算特別委員に6名の議員が選任された。

- 委員長 石川 昭男 君
- 副委員長 九里 郁子 君
- 委員 杉 沢 長 作 君
- 委員 池 原 金 与 志 君
- 委員 金 田 利 一 君
- 委員 岡 島 松 次 郎 君

議会のうごき

- 8月 5日 黒部川水利調査特別委員会
- 6日 上、中、下新川郡町村議会議長会(宇赤月町)
- 8日 第22回入善町議会臨時会
- 19日 黒部川水利調査特別委員会
- 21日 文教厚生委員会
- 22日 産業建設委員会
- 23日 第23回入善町議会臨時会
- 26日 広島県向原町議員来庁会
- 9月 1日 北陸高速道路建設促進協議会総会(富山)
- 3日 総務委員協議会
- 5日 黒部川水利調査特別委員会
- 17日 議会運営委員会
- 22日 第24回入善町議会定例会(第1日目)
- 25日 第24回入善町議会定例会(第2日目)
- 26日 第24回入善町議会定例会(第3日目)
- 10月 3日 下新川郡三町議会議長会
- 7日 決算特別委員会
- 13日 決算特別委員会
- 14日 決算特別委員会
- 16日 決算特別委員会
- 27日 議員先進地行政視察(茨城県筑波学研都市建設事務組合、東海村議会他)
- 31日 議会だより編集委員会

都市再開発について

町長が構想を示す

そのほか冷夏と転作に論議が集まる

統合小学校に特色のある 設計を考えているか

本田 幸光 議員(自民)

問 上原、青木両地区の熱意により統合小学校の建設が進展しており喜ばしいことである。今度建設される小学校にはこれからの教育の場にふさわしい特色のある設計を考えているか。

町長 (仮称)上青小学校建設用地については地元理解と協力を得、関係職員努力により、めどがついたと言ってもよい。関係の皆様へ深く感謝している。これからの教育は、人間性豊かな想像力に富んだ子供に育てるようしなければならぬ。このことを討議するために、入善町教育環境研究会を作り、メンバーとして21世紀教育の会の亀田先生、富山大学の桂木教授に現場の先生を加え9名程の方を考えている。この会から助言を得て新しい考えを取り入れ、特色のある学校を建設したい。

問 入善町では20ヘクタールが用途地域に指定されている。用途地域

56年度の転作条件と 農政の将来展望は

屋木 忠義 議員(自民)

には住居地域、商業地域、工業地域などの区分がされている。現在の指定区域はいずれも不足しており、これを見直し拡大することが必要と思いがどうか。

町長 用途地域の変更は5年毎に見直すことになっている。来年は見直す年に当るので今その準備をしている。現在の用途地域は20ヘクタールで、中に農用地が26ヘクタール残っている。見直しの条件として考えていることは、都市計画の中央通り線の着工である。これには中央公民館の建設や商店街の再開発など総合的な都市整備が関係するので、膨大な経費を要するから県営の事業としたい。この他緑のマスタープラン、公共下水道、公共施設、遊び場などを考えると用途地域の拡大が必要となってくるので、いろいろ必要な素を取り入れながら明年の用途地域の見直しを行いたい。

冷夏があったりすると減収となり国でも見通しがむずかしいようで、来年度の転作は、今だに割当が定まらない。

問 農業の課題は、いかにして農産物の過剰と不足との調和を図るかである。米は余っているし、豚肉と牛乳は過剰きみで、不足しているのは麦、大豆、牛肉と畜産用の飼料である。

町長 このような状態の中で、町として農産物の長期生産計画を作り、流通ルート、作りすぎの心配などの諸点について検討し、対応策を立てるべきだと思いがどうか。また来年度の転作条件、作物別生産計画について聞きたい。国の農業政策の展望を町の段階で論ずることは問題が大きすぎる。ただ、どのようになっても入善は米を作れば日本一の所であることは認識していただきたい。日本農業は国の保護を受けており、作った米は政府が買上げてくれ、その代りに自分で値段を決めることができなくなっている。これがいわゆる食糧長期計画である。国は農産物の需給長期計画を立てて、これに基づき転作を命じてくるのであるが、今年のように

冷夏があったりすると減収となり国でも見通しがむずかしいようで、来年度の転作は、今だに割当が定まらない。来年度の転作条件としては、面積配分を15パーセントないし16パーセントと予想しているが、傾斜配分が均等配分になる可能性があり、予想以上の面積になることも考えられる。また奨励金は引き下げられ、特定作物は5万9千円が4万9千円に、一般作物は4万4千円が3万4千円になる見込である。計画加算金も特定作物は1万5千円が1万円に、一般作物は1万円が7千円に引き下げられると見ている。これらの条件はまだ決定ではなく、情報として持っている。そのように理解願いたい。転作の実施については、農協や生産組合と相談しながら進めて行きたい。

入善精密鍛造に土地を 提供する根拠は何か

九里 郁子 議員 (共)

問 障害者の問題について町長の考えを聞きたい。

① 来年は国際障害者年である。これを1年限りのお祭りに終らせないために町として10年間の行動計画を作るつもりがないか。

② 身体障害者雇用促進法によって定められた雇用率を町内企業が守るよう働きかけているか。

③ 障害児の保育に対し保母を加配しているか。

社会福祉事務所や保健婦と協力して保育所を巡回指導しているか。

町長

① 昭和56年の国際障害者年に合せ精薄者更生施設新川むつみ園が出来ることになり、意義が深いと思ふ。この種の行事は永く持続して行く事は望ましいが、通常お祭り騒ぎして1年で終って行く可能性が多い。

② 身障者の雇用については、行政は努力というよりも雇用者の理解がないと法律で定めた率を実現できない。

③ 保育所に入っている障害児は12名である。保母の加配について

問 冷害で農家が経済的に困っている。転作を凍結するように国に働きかけられないか。

巡回は年2回実施している。

問 冷害で農家が経済的に困っている。転作を凍結するように国に働きかけられないか。

来年度の転作の集団化についてどのよき指導をしているか。

飼料米を転作物物に認めてもらえないか。

地域特産物導入実験事業として取り上げたサフランの販路や価格補償はどうか。

冷害の状況を調査しているか。

西瓜のようにイチゴにも助成できないか。

町長

転作問題は屋木議員の質問にお答したように、転作率の増加や奨励金の引下げ、集団化の制約等はまた国からの明示がないので新聞などの情報により指導している。飼料米については国に認めさせて実証田を設けた。サフランについては価格その他の

の問題もありこれからの事である。冷害の状況は、最近5ヶ年の平均と比べ越路早生で19.8パーセント、コンヒカリで14.5パーセントの減収が見込まれている。西瓜の被害は2千200万円で町も県に合せて農業代として助成したいと思つている。イチゴに対しては考えていない。

問 ユニが具体的にに出店計画を出したと聞いている。

町長は進出に賛成なのか反対なのか。

町長

ユニの候補地は5ヶ所程あげられていて、場所によっては商店街の生死にかかわる。

大型店が既存の商店と共存出来る位置に進出する条件であれば賛成であり、郊外の場合は絶対反対である。

問 財産取得と処分について聞きたい。

土地を求める企業全てに土地を提供できない現在、このよきな形で土地を提供する根拠は何か。

町長

機械工業センターの運動場の整備は、中小企業では無理なのか、荒れ果てた周辺の農家から苦情があり入善精密鍛造を誘致した。

この工場は省エネルギーの工場として時代に即応したものであること、また機械工業センター内へ下請として仕事を出すので、雇用の拡大にもなる。センター内の全部の企業が賛成して誘致した。

減反に対処する 町長の姿勢を問う

若島 信行 議員 (自民)

問 水田利用再編対策の第一期は、昭和53年から始まり今年で終る。転作として作付した大麦や大豆、そば、球根などの利益は、米作と比べるとどうであったか。

町長

米の場合は10アール当たり94俵の収穫で、利益はおよそ10万円である。麦の場合は、65俵で5千円程と思われ。転作で最も適したものは麦と球根である。その他にイチゴ、西瓜などの特産物を加え利益が米に近づくと努力する。

問 昭和56年からの第2期水田利用再編対策、3ヶ年の作付指導をどう進めるか。

町長

昭和56年の転作は特定作物として麦30ヘクタール、大豆40ヘクタール、飼料90ヘクタール合計90ヘクタールを予定している。

一般作物は、球根40ヘクタールのはか自家用野菜60ヘクタールなど130ヘクタールを計画している。

富山県は他の県に先がけて大麦の産地化を図り実績を上げている。

問 その中でも入善町は県下の10パーセントを占め、品質も収量も上位になっている。実績から言つて麦の転作は定着したと思ふ。これからも農家の理解と協力を得て進めたい。

参考となる資料は、適期に農家へ行渡すようにしたい。

町長

入善町は公園都市を宣言しているのだから緑を大切にしたい。特に屋敷林は全国的にも認められていて、ここに自分で池を掘り木を植えられる場合、町はなんらかのお手伝をしたい。

植木の産地にしたいと思ふが、雪が降るため苗木を育てることが困難である。

苗木が育たないとすると産地化はむづかしい。

埋没林は文化財に指定されるか

西尾 三郎 議員（自民）

問

吉原海岸で埋没林が発見され各方面から地元へ実状の問合せがあるが、分らないため返答に困っている。何かよい資料を整えてほしい。

世界最古といわれる埋没林の調査保存をどうするのか。また天然記念物の指定を受けられないか。

町長

吉原の海で網を入れると引掛ることがあり、以前から木の根のようなものがあるのでないかと言われていた。

これを確めるためにスキンタイパーが海中を調べていたところ、吉原の沖合500メートル、水深26メートルから40メートルの所で埋没林を発見した。

富士大学の藤井教授の研究によると、「埋没林の年代は世界で最も古く1万年以上たっており、木の種類はトチの木とシデの木で、海面が高くなったため水中に没した」とのことである。

問合せに対する資料としては、今のところ、9月25日から5日間にわたって放映したビデオテープがあるので希望者に見せたい。

天然記念物の指定については、県を通じ文化庁と協議している。文化庁は10月に調査に来る予定

である。調査が進むと町には似たような所がいろいろあるので、他にも発見されるのではないかと思っ

ている。保存対策としては、堀上げて飾るのでなく、なるべくそのままにして、必要な場合はなんらかの方法で見に行くことにしたい。

埋没林はレジャーよりも学術的な意味が多いので、文化庁や文部省の保護を受けた上で、沢杉、じようべのまと関連させて考える。町の資源としてしっかり守って

いきたい。

問

漁港に通ずる海岸道路は、漁民が早朝から通うためと、漁獲物を迅速に運ぶためにどうしても必要なものである。

速やかに実態を調査し整備すべきだと思いませんか。

町長 漁港は今年で船だまりまでの工事が終了、後は陸上の施設を作っていくことになる。

ここに通うための海岸道路は、副産物を利用することが最も簡単であるが、出来ていない所があるので、今すぐには難しい。とりあえず海岸に最も近い農道を調査し、整備を進めてゆきたい。

農政について提言し 町長の考えを聞きたい

福沢 万次 議員（社）

問

今後の農政に対する提言をして町長の考えを聞きたい。

① 入善町に適応した農業経営を研究開発し計画をたてるために改良普及所、農協、中核農家、学識経験者、役場などでプロジェクトチームを作ればどうか。

② 現状では米価の値上げは望みが薄いため、農機具や生産資材の値上りを極力抑えることを、他

の米生産者の自治体と歩調をあわせて国や関係企業へ働きかけること。米の消費が増えるよう利用の方法を研究し開発すること。

町長

① 二提案のプロジェクトチームの編成については、お互に悩んでいる時であり大変良いことだと思つて。早速農政課を中心として関係者と協議し作るようにする。

② 米が余っている現状では値上げは望めない。しかも生産資材、農機具がどんどん値上がりし、実質的には米が値下りしたことになる。

言われるように生産資材や農機具の値上りを抑制するよう努力しなければならぬ。

町では保育所も学校も給食は米飯にしたいと思つている。このように町の出来る範囲で消費拡大に努力しているが、国民の嗜好が米より他へ移行しつつあることを遺憾に思つている。

問

入善町は農工一体化の町として働く者のほとんどが勤務に出ており、行事が日曜日に集中し、平日よりも忙しくなつてきている。家族の団らんの為に毎月1回、例えば第3日曜日を家庭の日と定め、行



定植した大豆の畑

事を行わない日に行いたいと思つてどうか。

町長

私も日曜日は平日よりも行事がたくさんあるが大変忙しい。

県では吉田知事の時に第3日曜日を家庭の日として決めたが、なかなか守られなかった。

このことから家庭の日を設け、町全体が統一して休むことは、主旨としては結構なことだが、決めても守られるかどうか疑問に思つ

問

「広報にゆうぜん9月号」に首相と会見した町長の写真が掲載されている。以前から町長の写真が多いと思つていたが、今回の写真はカラー写真であり、公費もつてのPRであると思解される恐れがあるのではないか。

町長

見解の相違であり、人それぞれ考えがあり良いことだと言つても沢山いる。特に東京の富山県人会では誉められた。

鈴木総理には入善町の建設を始め、入善漁港の建設など大変お世話になつており、入善町としても感謝しなければならぬ。

広報の顔写真が多いと言われるが、私はそのように思つていない。

関連質問

九里都子議員

庁舎一階正面に掲げられた写真の経費と首相に贈られた獅子頭経費はどこから支出されたのか。

町長

総理へ贈った獅子頭も、一階正面に掲げた額もみんな自費である。

中央公民館の新築を考えて 都市計画を作っているか

岩場 俊 議員（民社）

中央公民館は、老朽化しているため新築が要望されている。総合計画によると、昭和57年度までの大きな事業として、仮称上青小学校の建設と総合体育館の建設が予定されており、この上さらに中央公民館の建設を考えると財政上困難であろう。

したがって小学校を最優先とすれば、総合体育館と中央公民館のいずれかを選択せねばならないと思ふが、町長はどれを取る考へか。指標のとおり、大型建設事業を3つも実施することは困難である。総合体育館については西中、入善中、そして黒東小の体育館の有効利用を当面考へるとして後回しにし、中央公民館の建設を考へるべきだと思ふ。また質問の中にはなかったが、この際勤労者の会館をせひ作りたいたいと思つている。

昭和56年から2ヶ年間で小学校の建設に加え、中央公民館が総合体育館がいずれかを建設するといふことになれば、最小限15億円ないし16億円かかると思ふが、財源的に大丈夫か。また債務負担を含

めた公債比率を押し下げないか心配である。これを防ぐため今年度、税収の増加が1億円程度見込めると思ふので、これを基金積立にすべきであると思ふがどうか。

財源を確保することには自信がある。債務負担も含めた公債比率を押し上げることはならない。中央公民館は、福祉会館との効果的な運用をすることとし、4億円ないし5億円を見込んでいる。勤労者会館は、新和工業の福屋工場を誘致したことによる国からの補助金を使用した。

昭和55年度の増収は、私も約1億円位の増収を期待しており、基金積立としたい。

入善町にとり、駅前から国道8号線への中央通り線の整備は、都市計画の大きな柱であり、中央公民館の建設は、この計画と深く関連する。

したがって中央公民館は、他の公共施設や商店街と有機的かつ効果的に結びつくよう計画すべきである。構想を聞きたい。

これらのことは町の総合計画の基本的な問題であり、将来の入善町の発展をふまえて慎重に対処すべきだと思つている。

中央通り線の巾員は、歩道も含めて18メートルから20メートルを考へている。そのための代替地を考へながら問題を煮つめなければ



新築が望まれる中央公民館

ならないので、現中央公民館敷地については、ユニーの進出に対処する意味からも大型店と町商店街とが共存共栄できるような活用をはかるべきだと考へている。

したがって中央公民館は福祉会館との効果的な運用を前提とし、もし可能ならば東洋紡の高級住宅敷地を譲り受けてそこに建てたい。

勤労者会館をどこに建てるかはまだ流動的で検討中である。

駅前整備の問題に関連して、自転車置場の増設は、国鉄と話がついたと聞いていたが、どうなっているか。

自

自

自

自

自

自

自

町長

自転車置場を作ることについては、話しがついているが、同時に付近をきれいにしたいということで、現在案を作らせている。

新しい金沢鉄道管理局長が着任されたので改めて確認に行きたい。

関連質問 本田幸光議員

駅前にある入善町の案内図が見苦しくなっている。早急に修繕が出来ないか。

町長

すぐに確認をし、必要となれば自転車置場の工事と合せて行いたい。

自

自

自

自

臨時議会 工事契約を可決

◇第22回臨時議会は8月8日に開催され、入善町農村婦人の家新築工事、入善町中央公園相撲場・フィールドアスレチックスの工事契約を可決した。

◇第23回臨時議会は8月23日に開催され、入善漁港改修工事第一工区、入善町立横山保育所改築工事、建築主体工事の工事契約を可決した。

自



竣工に備へて

寄付者のご厚志に深く感謝します。

寄付申出 受付年月日	寄 付 金 品	寄 付 目 的	寄 付 者	
			住 所	氏 名
55. 7. 5	図書室用机 (¥70,000) 3台	桐山小学校の 備品として	入善町桐山 473	藤 原 権 作
55. 7. 12	前田常作画集 マングラの光 (¥110,000)	町立図書館の 備品として	入善町入膳 5,417	藤 田 浩
55. 7. 15	トレーニング鉄棒 2台 (¥16,000) 感覚教具 一式 (¥10,000)	横山小学校の 備品として		昭和55年度母の会 代表 浜 田 雅 子
55. 7. 17	フラッシュ付カメラ (¥48,000) 1台	上原保育所の 備品として		昭和55年度母の会 代表 目 沢 美 智 恵
55. 7. 21	懸垂器 (¥20,000) 1台	老人憩の家の 備品として	入善町藤原 358	池 原 健 松
55. 7. 23	応接用椅子 (¥50,000) 2脚	入善中学校の 備品として		入善中学校PTA 会長 田 中 一 夫
55. 7. 23	応接用椅子 (¥200,000) 6脚	"		入善中学校同窓会 会長 永 山 恒 弘
55. 7. 23	ミシン (¥37,000) 1台 スチームアイロン (¥13,000) 2台	"	入善町吉原 4,914	安 原 宗 光
55. 7. 24	組立天幕 横 1組 縦 2組 (¥200,000)	黒東小学校の 備品として	入善町幕ノ木 142	橋 場 源 次
55. 7. 24	キャンプ用テント (¥204,000) 6張	入善小学校の 備品として		入善小学校自卓同窓会
55. 7. 25	教育用図書 (¥50,000) 一式	黒東小学校の 備品として	入善町一宿 588	細 田 実
55. 7. 30	折りたたみ式卓球台 (¥100,000) 2台	横山小学校の 備品として	入善町入膳 3,622-13	小 城 時 健
55. 8. 2	プール用テント (¥65,000) 一式	野中小学校の 備品として	入善町中沢 388	金 森 清 作
55. 8. 7	自転車 (¥60,000) 2台	横山小学校の 備品として		横山地区防犯組合 組合長 辻 田 朝 悦
55. 8. 7	自転車 (¥30,000) 1台	"		黒東安全協会横山支部 支部長 永 山 恒 弘
55. 8. 18	ミシン (¥80,000) 1台	桐山小学校の 備品として	入善町桐山 561	青 木 幸 恵
55. 9. 2	ミシン (¥70,000) 1台	"		入善ブラザー 代表 東 条 幹 男
55. 9. 4	放送用機材 (¥260,000) 一式	"		桐山小学校PTA 代表 青 木 勇 三
55. 9. 4	放送用機材 (¥200,000) 一式	"	入善町春日 507	土 居 ヨ シ エ
55. 9. 4	プール用テント (¥170,000) 一式	青木小学校の 備品として	入善町日川 733	杉 沢 組 代表 杉 沢 信 義
55. 9. 10	小太鼓 中太鼓 (¥65,000) 5個 1個	新屋保育所の 備品として		昭和55年度母の会 代表 高 源 順 子

編集後記

北アルプスの、峰々の雪が、紅葉を追いかけて降りて来ます。

今年も冷夏でありましたが、9月中旬からの晴天が幸いし、良質米コシヒカリは不作と言われながらも、農家のみなさんの努力で、東北地方のような大凶作からまぬがれたのは喜ばしい事でした。

町内各地では体育大会、作品展発表会と、文化的伝統的行事、お祭りが盛大に催され、それぞれの行事に参加されたと存じます。

一方冬は毎年同じ速さで、おとずれます。気象台でも、今冬の長期予報では雪の多い寒い年になりそうです。各家庭も越冬準備をされることと思います。そうして充実した正月を迎えましょう。

編集委員

米島一信 若島信行
岡島松次郎 上野幸一
岩場 俊 小林与三雄
江畑伊作 福沢万次

